

6月定例山行

6月15日(日) **金木山**

参加者 23名

CL 宮木一民 SL 小林愷子  
上別祖、原田、川村、村島、  
熊野、石倉、鬼武、円山、成広  
中島康、三浦、宮木ス、小寺、  
白川、坂本、国本、三重ナ、  
竹野栄、坂井、栗林、中島ミ



コースタイム

県庁北 7:40⇒戸河内 IC⇒9:30 小国 9:50⇒10:10 登山口 10:20⇒11:20 金木山 12:30→  
13:30 小国⇒14:00 金城町きんたの里 (入 浴) 15:30⇒旭 IC⇒17:20 県庁北

○

梅雨入り宣言も出され、いよいよ雨の季節である。道中は仕方ないとしても、昼食時にはなんとか雨が降らないように祈ったのが通じたのか、参加者の皆さんの行いがよかったのか、それともビニールシートを2枚も用意していったのに敬意を示してくれたのか、雨どころか時々晴れ間の広がる良いお天気になった。

マイクロバスを降り、川沿いの道を歩く。たくさんのウツボ草やアザミの紫色がとても印象的だ。野イチゴを見つけ口にしてみる。甘みがありおいしい。

登山口より1時間程度の行程であるが、かなりの急登で階段が続く。階段の終わる尾根道に出ると頂上はすぐだ。所々、そして山頂には甘い匂いが香るササユリの花を見た。山頂からの展望は残念ながら駄目であった。

下山後、金城町“きんたの里”の温泉で汗を流した。関節を痛め、山登りには参加しなかった国本さんとここで合流する。22名という大人数なので先頭を歩いた私は体調のあまり良くない方達がおられたのに気がつかず申し訳なかった。その分、SLの小林さんにずいぶんと心配りをしていただき感謝している。

(記 宮木 一民)

○

梅雨の最中の山行であり、雨が心配されたが幸い雨具を着けることもなく曇日の中山行が出来た。準備体操をしていると突然筒鳥が鳴き出す。

緑滴る山間の道を進む。既に葉の一部が白く変色した、またたびの葉が涼しそうに揺れている。卯木の白い花が沢山溪流にこぼれて美しい。正面に見える金木山に向かって進む。薄暗い広い竹林を過ぎ1時間で頂上に着く。

中世の山城跡だそうでその名残りの空堀らしきものが残っている。生憎の天候で遠く日本海や三瓶山等は望めなかったが眼下の金木の町並みや植田を見下ろす。下山は30分で下り、きんた温泉でゆっくり汗を流す。

金木山はやまぼうしでは初めての山行であり。初めての山は期待があり、何か楽しい。宮木さんは新しい山を常に探し出しリーダーを引き受けてくださり感謝しています。

金木山についてちょっと疑問に思ったこと、金城町にありながらなぜ金木山であるのか。

(記 熊野千鶴子)